

TAKE FREE
2022.11

photo: Ken Ohki

とやまごころ

— 日本橋とやま館たより —

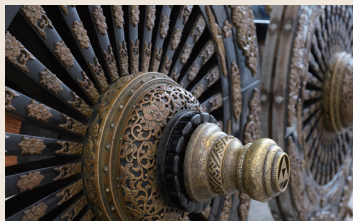
あなたの知らない富山が誇る

ヒト・モノ・コトの魅力が見つかるフリーマガジン



NIHONBASHI
TOYAMA

高岡漆器の特徴や歴史



江戸時代初期の1609年(慶長14年)に加賀前田家2代・前田利長が高岡城を築城し、武具や箆筒、御膳などを作らせたことが始まりと言われています。高岡城はわずか5年で廃城となりましたが、城下町の高岡は商工業や文化が発展。漆器の技法も中国から伝来し、多彩な色漆を用い立体感を出す彫刻塗、鎗絵(さびえ)、螺鈿(らでん)、存星(ぞんせい)®などの技術が発展してきました。これらの技巧は毎年5月1日に行われる高岡関野神社の春季例大祭「御車山祭り」で奉曳巡行する豪華絢爛な御車山(みくるまやま)からも伺うことができます。

※鎗絵: 漆で絵や文様を描く技法 / 螺鈿: 貝を細工した装飾技法の総称 / 存星: 漆器に文様を彫り色漆を詰め、輪郭や細部に金泥を埋める技法

豊かな手仕事の
ふるさと、富山が
誇る伝統工芸品の
多彩な魅力

富山県にはその歴史と風土に培われた伝統工芸品が現在にも受け継がれています。国が指定する伝統的工芸品のひとつである「高岡漆器」。江戸時代初期に武具や箆筒、御膳などといった生活用品の製作から始まり、次第に彫刻や箔絵、鮎貝を用いた装飾が取り入れられ、芸術品のような漆器へと進化を遂げました。また、螺鈿(貝飾り)の手法をガラスと融合したグラスなど、現代の食卓にも似合う新たな製品も魅力に溢れています。

富山が誇る伝統工芸品の 多彩な魅力 #02

高岡漆器、3つの技法

高岡漆器には3つの技法があります。①

「彫刻塗」は木彫堆朱、堆黒®などによる雷紋や亀甲の地



紋の上に草花鳥獣、青海波、牡丹、孔雀などを彫り出したものが多く、立体感と独特の艶が特徴です。②「勇助塗」は唐風の雰囲気、意匠に花鳥・山水・人物などの鎗絵や箔絵を描き、ポイントに青貝、玉石などを施した繊細な趣きを持ちます。③「青貝塗」は鮎などの貝を刀や針を用い、三角形や菱形の細片を作り、これらを組み合わせ、山水・花鳥を表現する技法で、貝と漆の光沢が調和した独特な味わいがあります。

※堆朱、堆黒: 漆を塗り重ねて文様を彫り表す技法

12月5日(月)から18日(日) 高岡漆器展 開催予定

富山が誇る伝統工芸品の 多彩な魅力 #03

現代の暮らしに映える漆器

現代の生活スタイルにあわせて進化している高岡漆器。中でもおしゃれなデザインを施した箸置きやスマホケース、和小物などは親しみやすい漆器と言えるでしょう。さらに、漆とガラス



を組み合わせたさまざまな形状のグラスも人気。ガラス素材に高岡漆器の特長である螺鈿(あわび貝)技法を取り入れ、漆で仕上げた「螺鈿グラス」は和と洋が融合した逸品です。

参照: 天野漆器株式会社「螺鈿グラス」ホームページ
https://radenglass.com/#about_top

【表紙の紹介】株式会社柴田漆器店にて

撮影そのものは一瞬、緊張感が伝わります。[30cm四方の箱を塗る時間は10分くらいかないほど。ですが、塗るまでの工程は非常に長く、漆の中の不純物を何度も濾したり、何度も筆を漆で洗ったり。貴重な漆を無駄にしないよう、最後の一滴まで使い切るなど、職人精神が素晴らしいです。(カメラマン: 太木賢)]



日本橋とやま館

営業時間

ショップフロア 10:30~19:30
和食レストラン 11:30~14:30
17:00~22:30(日・祝~21:00)
バーラウンジ 11:00~21:00
年中無休(年末年始、ビル施設検点日等を除く)
※11月7日(月)は、休館いたします。

営業時間やイベント内容については変更となる場合があります。最新の情報については、日本橋とやま館の公式ホームページ・SNS等でご確認ください。

〒103-0022 東京都中央区日本橋室町1-2-6
日本橋大栄ビル1階

ショップフロア(物販) 03-3516-3020
和食レストラン「富山はま作」 03-3516-3011
その他(イベント等) 03-6262-2723

電車でのアクセス

東京メトロ
銀座線・半蔵門線「三越前」駅: B5出口より徒歩すぐ
銀座線・東西線「日本橋」駅: B9出口より徒歩3分

都営地下鉄
浅草線「日本橋」駅: B9出口より徒歩3分

JR
総武本線「新日本橋」駅より徒歩8分
「東京」駅より徒歩8分

バスでのアクセス

メトロリンク日本橋(無料巡回バス)
「地下鉄三越前」駅下車 徒歩1分
※東京駅八重洲口「第二鉄鋼ビル」よりご利用いただけます。

公式ホームページ



公式ホームページ更新中!
さまざまな情報を発信しています。

日本橋とやま館



公式SNS

facebook
@toyamakan.jp

Instagram
@toyamakan

